



広報

# うまじ

第204号

平成14年4月1日発行



●●●卒業式後のさわやかな笑顔のパチリ●●●

門  
出  
の  
日

卒業式が終わって、会場を出た卒業生を先生と在校生が囲んでのスナップ写真です。

別れの日、新しい門出の日です。それぞれの場所で、みんなにすてきな出会いがありますように。

目  
次

特集	第1回地域特産品通販	
	ネットワーク全国大会 in 馬路村	--- ②③
教育	ジュニアリーダー養成・ウインターキャンプ	-- ④⑤
国際交流	オー！ザック	----- ⑥
	われら馬路ゴミ探偵団	----- ⑦
健康福祉	私の体は私のもの、だから自分でしっかり守る	-- ⑧⑨
教養	馬路村の歴史と伝説ほか	---- ⑩⑪
お知らせ	各種教室のご案内ほか	----- ⑫⑬
	赤ちゃん万歳ほか	----- ⑭
	村のできごと・村内あちらこちら	----- ⑮

# 風を届けよう

日本中が  
マーケット

## 品通販ネットワーク全国大会 in 馬路村



日本全国から馬路村へ

三月九日、全国の特産品通信販売にかかわる方々が手を結び、方法論の共有化や環境に配慮した安全な商品作りを目指そうと、「第一回地域特産品通販ネットワーク全国大会」が馬路村体育館にて行われました。

北は北海道、南は九州・熊本県まで全国二十五道府県から二百人あまりが参加。この大会で初めて馬路村を訪れた方から、馬路村のファンで何度も訪れた方までいました。ゆず商品の通販で年間二十五億円を越す実績をあげ、今や「地域おこし」の全国区と

### 「馬路村宣言」

馬路村のゆず加工品通信販売の事例が示す通り、特産品の育成、発展は地域の振興と活性化の原動力となります。

しかし、そのためには、さまざまな困難に正面から立ち向かい、市場のニーズを見極め、常により商品づくりの研究を続けることが不可欠です。

通信販売により、みずから進んで情報発信をし、お客様とのコミュニケーションの輪を広げることは、地域に活力をもたらす大きなエネルギーとなります。

多くの特産品が技を競い、商品ならびに、その文化や歴史を守り、育て、全国にその価値を認められるよう努力することが、地域のみならず、日本中に元気をもたらす一歩になるものと確信いたします。

地域特産品通販ネットワークは、この馬路村宣言をもって、日本中に地域の風を吹かすことを宣言いたします。

平成 14 年 3 月 9 日

第 1 回地域特産品通販ネットワーク全国大会 in 馬路村  
東谷 望史

### 熱心な参加者たち

なった馬路村を実感させてくれました。

会場入り口には全国から自慢の地域特産品やカタログが多数展示。受付が済んだ参加者たちの情報交換が、名詞を交換し合いながらさっそく始まっています。

開会挨拶が終わり、東谷望史さん（馬路村農協・代表常務）と松崎了三さん（田舎丸

### 全国から多数の参加者

九州 四国 中国 近畿

大分県 香川県 島根県 大阪府  
福岡県 愛媛県 山口県 京都府  
熊本県 徳島県 岡山県 兵庫県  
長崎県 高知県 広島県 和歌山県  
佐賀県

中部 関東 東北・北海道

愛知県 東京都 青森県 北海道  
三重県 千葉県 秋田県  
山梨県

# 地域の

## 第1回地域特産

### 特集



地域特産品などの展示会



馬路村農協紹介ビデオ



特別対談  
(左が松崎さん、右が東谷さん)



パネルディスカッション  
(左から2番目が橋本知事)



大交流会

### 多彩な催しで 元気いっぱい

こと販売研究家)により、『地方が生き残るための風を吹かす』というテーマで特別対談がありました。ゆず加工品を始めた頃の苦労話や売上が伸びる転機となった出来事などについて、参加者は熱心に聞き入っていました。途中で、「新しい馬路村農協紹介ビデオ「壁を越えて」の上映もありました。

メイン行事パネルディスカッションでは、橋本大二郎知事や大学教授、業界関係者ら九人で討議。「地域特産品販売は今後どうなるか」「地域特産品の産地と消費者との交流はどうあるべきか」など、今後の馬路村の方向をどう選

#### 馬路らしさが出る夜

択していくか考える上で、重要な発言が相次ぎました。最後に、東谷さんから、「馬路村宣言」が表明されました。

夜は、馬路温泉となり、この日のためだけに設営された特設ビニールハウスメントに会場を移し、アユの塩焼きやゆずを利かした山菜寿司など馬路ならではの食材で交流会がありました。参加者は夜遅くまで馬路の夜を楽しんでいきました。

#### 参加者の声

- ・ 地元の人が元気。団結力を感じる。とくにこのテント。  
(30代女性)
- ・ ビデオがすごくじんときた。  
(30代女性)
- ・ 対談がよかった。自分たちで創り上げてきたというパワーを感じて時間があつという間でした。  
(30代男性)
- ・ 対談が楽しめた。何でも最初からうまくいかなのやなあ。  
(30代男性)
- ・ 知事がよくマーケットイングを理解している。  
(50代男性)
- ・ ハンディーを逆にメリットに変えている。そのためのかかけを村全体でしている。伝え方が上手。  
(40代男性)
- ・ 対談が、今まで苦労して、報われたんだなあ。良かったなあと思った。  
(40代女性)
- ・ たいした田舎だ。偉大な田舎だ。  
(40代男性)

# 口出しを少なくして 子どもの判断に任せてみる

## リーダー養成・ウィンターキャンプ



▲ 朝食は、まきまきパン作り

**目的はジュニアリーダーの養成**

二月九日・十日と魚梁瀬キャンプ場において、ジュニアリーダー育成のためのウィンターキャンプが昨年に引き続き行われました。

このウィンターキャンプは、夏のオールナイトキャンプとともに、魚梁瀬子ども会の野外活動として実施されていますが、ウィンターキャンプは、「ジュニアリーダーの養成」という目的で、魚梁瀬小学校と馬路小学校の四、六年生が合同で実施することになっています。

今年も、魚梁瀬から五名、馬路から三名の計八名の子どもが参加しました。

**欠かせない魚梁瀬青年団のサポート**

子どもの活動で欠かせないのは大人のサポートです。ウィンターキャンプでは、魚梁瀬子ども会の島田さんの他に、教育委員会から三名のサポートがつけました。また、魚梁瀬での活動の特徴づける重要なサポーターに、魚梁瀬青年団の存在があります。子どもたちにとって比較的年齢の近い彼らは、良きお兄さん、お姉さん役として、力を発揮してくれます。今回は、馬路から魚梁瀬キャンプ場までの十四キロメートルを歩くという活動で、「子どもたちが歩いています」という張り紙をした車で、子どもたちの安全を確保してくれました。

余談になりますが、夏のオールナイトキャンプでは、彼ら魚梁瀬青年団の他に、島田さんが野外活動の研修などで知り合った高知大学の学生で、子どもたちの活動に関心のある四名もサポーターとして参加していました。

**子どもたちが自分で判断する機会を大人が奪っていないか**

今回のキャンプで、サポーター

ターの役割として確認したところの中で、もっとも重要なことは、

大人の口出しを少なくして、危険でない限り、子どもたちの判断に任せる。

ということでした。

平成十年に実施された『馬路村の教育課題を探そう大運動』では、「馬路村の子どもたちは、素直だが、指示待ち型である」と指摘されています。その原因はいくつかあると思いますが、一番重要な原因としては、少子化で、一人の子どもに対して、家庭でも、学校でも、地域でも、大人の口出しが多くなり、子どもたちが自分で判断する機会を大人が奪っているからではないでしょうか。

**子どもに任せることの難しさ**

キャンプ最初のころは、子どもたちの方も、大人の判断をすぐに頼ってきます。しかし、質問されても、

「自分はどうか考えるの?」

「自分のグループで、相談して決めたら?」

と問い返されるうちに、しだ

## 教育トピックス



「山の学校留学」体験入学

2/23



国際理解教育研究会

2/19

# 大人の 子

## ジュニア



### コミュニケーションの力を高めるさまざまな活動



▲ ブラインドスクエア

目隠しをして、ロープを握り、輪を正方形にする。声かけがとても大事。



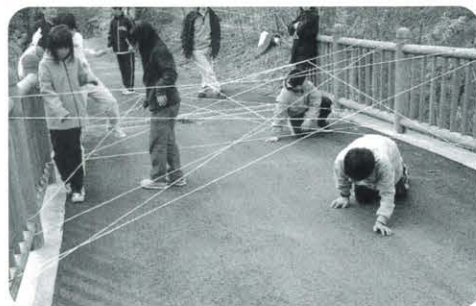
▲ 馬路・魚梁瀬へウォーキング

馬路から魚梁瀬までを歩く。距離が長いので、思いやりが大事。



▲ エレクトリック

ロープに電気が流れていると仮定して、ロープに触れないで、向こう側へ。



▲ くもの糸

張りめぐらしたロープに触るとアウト。仲間のアドバイスが頼りです。

いに大人の判断に頼ることをしなくなり、自分たちの判断で行動するようになります。しかし、実は、ここからが大人の忍耐力を試されるときなのです。子どもたちの様子を見ていたら、こうしたらいのに、ああしたらいいのと思うことが多々あって、それを忍の一字でいることは、大人にとって、とても難しいことなのです。事あるごとに口出しをする方がずっと楽なのです。

子どもに任せるといふことは、子どもに試行錯誤させるという事です。また、失敗を許すということ。大人のサポーターにはそういう子どもの試行錯誤と失敗を見守る懐の深さが求められます。

**大切にしたい 体験をふりかえる時間**

そうは言っても何もしないわけではありません。体験をした後、皆で「ふりかえり」の時間をとります。そこでは、それぞれの子どもが、活動の中で、どんなことを感じ、考えていたか話してもらいます。大人は観察したことをもとに「あのとき、こうだったけど、どう思っていたの?」と、具体的な出来事を通して、子どもの発言を促すようにします。

実は、体験活動で一番大事な時間は、体験そのものだけではなく、体験の「ふりかえり」の時間もあるのです。体験の中の自分の思いを、言葉に表して確認し、友達の思いも聴いて、皆で共有する作業こそが、「体験から学ぶ」という真の意味なのです。

### Educational Topics



in昔  
天体験  
保験の  
家習

3/1



親子  
読書

2/27 3/1  
3/6 3/7

# 魚梁瀬青年団との交流

国際交流員の仕事の一部は自分の国のことを村民に教えることです。または、日本のことと日本の文化の勉強をすることです。もっともよい方法は個人とが小さいグループで交流をすることだと思います。私は馬路村に住み、村民と交流する機会がかなりありますが、もっと大きい町や都市に住んでいる外国人たちは日本人との交流が少ないと思います。それで、2月13日に、この近くに住んでいるALT(外国語指導助手)を招待し、魚梁瀬青年団と一緒に国際交流イベントを行いました。

私と宍田町のスチュアートさんと宍芸市のロビンさんは写真を見せながら、自分の国と旅行した国について話しました。自分はアメリカのこと、スチュアートさんとロビンさんはイギリスのことを話しました。また、スチュアートさんはアイルランドとネパールのことも話しました。話が終わったら、青年団の質問に答え、食べて飲んで、自由に会話をしました。とても楽しく、おもしろい時間を過ごしました。今度、魚梁瀬青年団は私たちに日本のことを教えてもらいたいと思います。特に料理のことを…。

これからも、このようなイベントをいっぱい行いたいと思います。馬路村でのホームステイもできたら最高と思います。高知の大学に留学している外国人も、他の町村で働いているALTとCIRたちも招待し、馬路村の特別なポカポカ親切さで楽しい国際交流をしたいです。よろしくね!



国際交流員 ザッカリー・パイパー さん  
(アメリカ・マサチューセッツ州出身)

食べて、飲んで、自由に会話して…



▲ちゃんと勉強会もしました



▲お酒が入ると国際交流もすすむ



▲魚梁瀬青年団と記念写真

## GENKI 青年会土佐弁ミュージカル2002



ザックも出るぜよ

### 『龍馬んすっく!!』

♥おまんら、恋しゆうがえ

4月14日(日)

宍芸市  
3:00-4:30pm  
宍芸市民会館(大ホール)

4月21日(日)

高知市  
3:00-4:30pm  
ふくし交流プラザ(多目的ホール)

入場無料

# われら馬路ゴミ探偵団

## ◆これでいいのか馬路村

二月六日、私たちは、安田川沿いの県道を美しくするために、空き缶などのごみを拾いました。

それは、県道を美しくして、馬路村へ来た人たちに、「きれいだなあ。」と思ってほしいからです。また、その評判を聞きつけて、もっとたくさんの人たちに馬路村を訪ねてほしいと思ったからです。

ところが、私たち馬路小学校四年生のわずか五人では無理なので、三年生やお家の人にも呼びかけました。また、それだけでなく、同じ安田川沿いにある中山小学校や安田小学校にも協力してもらえよう呼びかけました。すると二つの学校は共に気持ちよく引き受けてくれました。拾った缶は、後日、みんなで洗いました。そのときの作文やデーターも載せました。大人の皆さんはどう思われませんか。

捨てた缶 1332本  
ポイ空き



拾ってきた缶を、みんなで洗いました

【馬路小学校四年生】  
乾 友哉 小笠原考洋  
清岡 直樹 井上 真歩  
森岡 萌

今日、僕たち、三・四年生は缶洗いをしました。缶を洗っていたら、かたつむりやタバコのかすがいっぱい出てきたので気持ち悪かったです。そして、生臭い匂いがしました。それでも缶を洗っていたら、ものすごく土がいっぱい出てきて、洗っているた

らいの水が真っ黒くなりました。揚げ句のはてに、アリのぞくぞくいたので、びっくりしました。ほくはせっかくの馬路村やのに、自然を汚しているなど思いました。ほくは、悲しくなりました。外国を見直しました。日本にも、ゴミを捨てたら罰金か

いるルールを作って、そして、日本各地に広まってほしいです。そしたら、きれいな県道になると思えます。やっと缶洗いが終わりました。とってもすごい三時間だったと思います。すごくいい一日が過ごせたとおもいます。

小笠原考洋くんの作文

## こんなにあったぞゴミの量

アルミ缶ビール	アルミ缶その他	べしゃんこにつぶされていたもの
82本	84本	157本
スチール缶 コーヒー	スチール缶 その他	さびて缶に穴があいていたもの
805本	176本	28本

燃えないゴミ 20袋

## ◆お願いします

ゴミを捨てないようにしましょう。

缶は持って帰って、家で洗ってリサイクルできるようにしましょう。

タバコは携帯用の灰皿や車の中の灰皿に入れてきちんと捨ててください。携帯用の灰皿は一〇〇円ショップで売っています。

捨てているゴミを見たら、見て見ぬふりをせず、環境のために、ゴミを拾ってください。

私たちはきれいな自然が大好きなので、きれいにしたいのです。

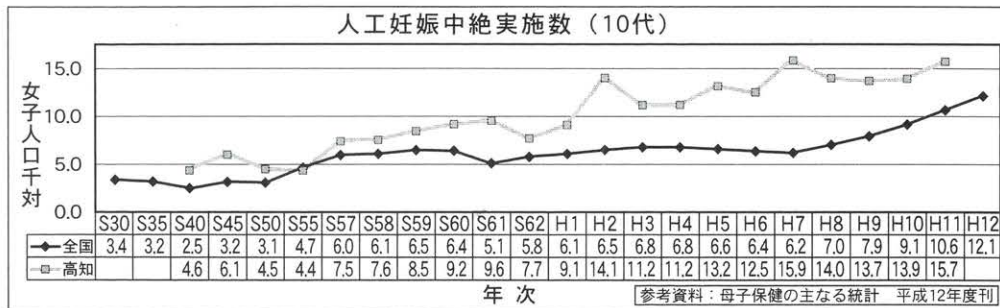
# 私の体は 私のもの だから 自分で しっかり守る

～おらが村いのちの教育研究会～

思春期の性や  
からだの悩み  
～思春期電話相談～  
☎ 088  
875  
ナヤミゼロ  
7830  
(土曜日)13:30～16:30  
※ 祝祭日は除く

平成十四年三月七日(木)、  
八日(金)に、「おらが村いのちの教育研究会」が、日本の性教育の第一人者である北沢杏子先生を招き、性教育の公開授業と研修会を実施しました。そのときの様子をお知らせします。

## 全国平均を大きく上回る10代の人工妊娠中絶率



# 声

自分の体、他人の体を守るために  
コンドームの装着の仕方を学ぶ

### 小学生の感想

▼赤ちゃんはどこから生まれるの？ 保育の人がほとんどお腹から生まれると言いました。一、二年生は、卵子と精子がつながって、赤ちゃんができると言いました。ほくは正解だったから、うれしかったですよ。(二年生)

▼命というものは大切なものです。(二年生)

▼人はいろんなことを通して、命を引き継いでいるんだなあと思った。(三年生)

▼精子は大切なので、絶対に死なないように、大切にしようと思えました。心の準備をしてから、大人になろうと思いました。(四年生)

▼私は北沢先生と勉強して、今まで相談しにくいことも、くわしく教えてもらって良かったです。(四年生)

▼一番印象に残ったのは「タバコ」のことでした。一日二十本タバコを吸う人は、一年間に約ピーカーいっぱいタバコを体に送り込んでいることが分かりました。私の父も二十本ぐらい吸っていると思います。だから、父にそのことを話すことができました。(五年生)

▼一人ひとりの命。お母さんが生んでくれたたった一つの命。たった一つの命を私は大切にしていきたいと思います。自分だけじゃなく、周りのいろんな人が大切にするといいと思います。(六年生)

▼脳や人の体は他の生き物にもまねできない頂点を極めるほど複雑だと思う。それに、すばらしい行動を無意識に行っている。生まれるときに、頭から出るのもその一つだと思う。(六年生)

### 中学生の感想

▼すごく難しくしてほとんどわからなかったけれど、大切なことを教わったと思います。

▼この命がいつも以上に重くなったように思った。だから、大切にしたいです。

▼感染症のこと、私には無縁のことだろうなと思っていました。けれども、今日の話を聞いて、私も感染症のとなりにいるんだなあと思いました。

▼私は、そういう性については、まだまだ早いと思っていましたが、でも、どんどん聞いていけると、早めに習っていた方がいいなと思いました。

▼北沢先生は、なんか男子は自分勝手とか言っているように聞こえましたが、僕は違うなと思いました。

▼私は、これから自分はどんな生き方、人生を歩んでいくのか分かりません。でも、自分のことは自分で守れて、相手のことを考える人になりたいです。

▼今日の北沢先生の話は、とっても将来のことに役立つと思います。それに、子どものときに、こんな体験ができて本当に良かったです。また、これからいろんな悩みができたときも、北沢先生のような人にしっかり相談しようと思う。





保育園児  
小学校一〜二年生

### 「赤ちゃんどこから来るのかな？」



園児が、ねずみのお父さん、お母さんになり、赤ちゃんねずみがたくさん生まれるまでの過程を、精子と卵子のペープサートを使い、実演しました。また、小学生と園児が医師、助産師、夫になり、産婦さん人形を使って、出産シーンを再現したりと、子どもたちも一緒に参加して「赤ちゃんはどこからくるのか」を楽しく学ぶ一時間となりました。

小学校三〜六年生

### 「大切ないのち」



体の変化・心の変化といった二次性徴や受精の話、血液製剤によりHIVに感染した川田龍平さんの話、「子どもを産む・産まないはあなたが決めること」など、人権・自由・平等なども視点にあてた授業が行われました。最後には、胎児が子宮の中で成長していく過程をパネルを使い、自分たちで説明しながら学びました。

中学校一〜三年生

### 「愛と責任 ～青春をどう生きるか～」



「生理中のセックスは妊娠しないって本当?」「仮性交差って何?」など、質問が書かれた紙を、中学生、教員が読み上げ、それに北沢先生が答える形で授業が始まりました。また、妊娠や性感染症を防ぐためのコンドームの装着実習も行い、ビデオ『ドキュメント出産』では、「いのちの大切さ」「親への感謝」など感じとったようです。

保護者・一般

### 「答えられますか? 今どきの子どもの性」



「子どもに携帯を持たせて大丈夫?」「子どもに、妊娠した、または妊娠させたと言われたら、親はどう対応する?」など、事前に保護者等から寄せられた質問に、北沢先生が答えていきました。「子どもたちの行動を抑えることはできない。だから、良いか悪いかの判断ができる情報を与えることが大切」と性教育の大切さを訴えていました。

専門職・研究会員

### 「今どきの10代 Q&A」



「おりものが多いんだけど:」「マスターベーションは一日何回まで?」など、中高生から寄せられた質問が書かれた紙を参加者一人一人が読み上げ、実際にその質問に自分が答えるという模擬授業をしました。「指導者として、自分自身を見つめる良いきっかけになった」という声が聞かれました。

子どもの成長に応じたいのち・性の教育

# 馬路村の歴史と伝説



馬路公民館長 山中 巖

(通算第97回)

私事で恐縮ですが、先の頃、阿波の海南町を訪ねる機会を得て、町立博物館を見学し、特に町内で発掘された大瓶、中に入っていた宗銭を中心にした古銭、七万八十八枚、再現された千四百年前の古墳や日本刀等に町の歴史の古さを感じました。また明治初年、中江兆民がこの地から対岸の海部町へ渡り、海部川をさかのぼって、魚梁瀬の山崎胤(兆民の門弟で初代馬路村長)宅を訪れた事柄が脳裏を駆けめぐりました。同時に中世には、魚梁瀬・馬路からこの川の本流・支流をたどって落人が隠れ住み、ついには海南町に至る道があったのではないかと考えました。

## 平氏の落人伝承

### 船津・久尾・海南町を結んで

見学の合間に、町立博物館長・徳島県文化財保護審議会会長の岡田さんに平氏の伝承などお聞きすることができました。とても幸いでした。今までに、土佐の郷土史家の方から、阿波の南地区の平氏は、船で壇ノ浦、屋島等から逃れてきたものであると聞いていましたが、必ずしもそうでない事がわかりました。海南町の平氏の子孫(名前は書かないように言われています)の系図や祭文を見ても、らいますと、一部ですが、「能登守教経は、安芸太郎・次郎等と魚梁瀬の二ノ谷に逃れ、のちに魚梁瀬へ移り、数代を経て、盛貞の八代の孫、門脇佐次兵衛



「大瓶と古銭」 海南町立博物館

は、再び住居を阿波の久尾村阿瀬川に移し住んだ」と記されています。(以下省略) 私が調べた野根川流域、海部川流域(南阿波)は、祖谷地方に次いで平家落人伝承の多いことを感じました。さて今回は、勇壮な真剣を持つて踊った(戦時中まで)「太刀踊り」が今も残されている船津地区の開発と平氏の落人の関係を考えてみます。前に記しました門脇佐次兵衛に子息が二人あり、兄は治郎太夫、弟は助右衛門といいました。

## 馬路村歌壇

健やかな日に戻る日はついになき

友かと思ひ病室を出づ

久子

寒風の日々柚子の施肥気にしつ

我を大事に温くき日を待つ

雅子

北国は大雪予報我が庭の

辛夷の花芽日増しにふくらむ

安子

水ひきしダム湖の冬はいたいたし

もどかしく過ぐる胸のしこりも

満

萌黄色に咲き誇りたる蘭の花

奇しくも友の形見となりぬ

佳子

吹き上ぐる風のとよもすみ寺の庭

白じらとして早く咲く梅

源治郎

物の怪の気配を感じ振り向けば

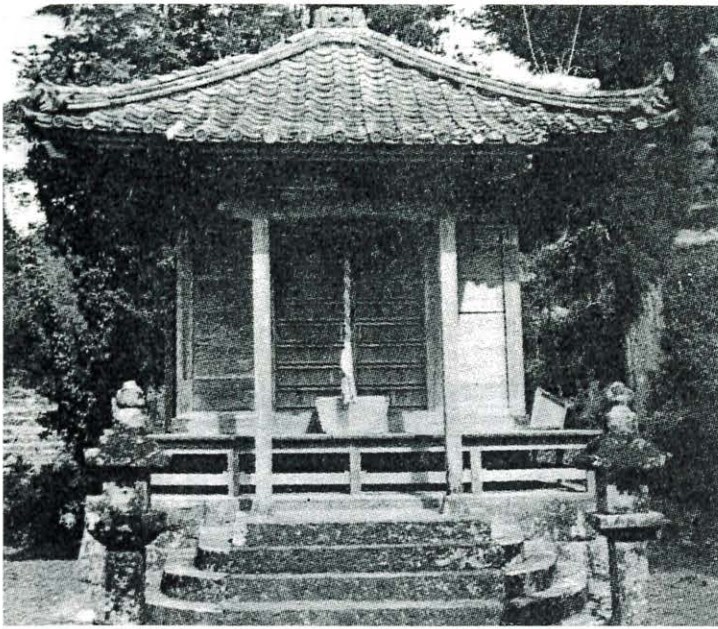
椿の花弁くずれて落ちぬ

千恵子

明日より何をすべきと急ぐ妻は

退院の日の記憶をなくす

いわお



文珠堂（徳島県穴喰町船津）

たのです。  
その功績によって、兄の治郎太夫は肝煎役（庄屋のような役）に取り立てられました。しかし、治郎太夫は酒を好み、飲むほどに素行が悪かったために、何年もたないうちにやめさせられました。そして、弟の助右衛門が肝煎役を命ぜられました。  
その後、船津地区は、平氏の一族が増えていったのです。そして現在も住民の方は、平氏の子孫と考えています。  
当地区は、昭和四十年頃は

五十五戸（二百人）でしたが、現在は、三十六戸（七十人）くらいになっています。  
船津は、野根川口より五里くらいさかのぼった地点に在り、名前の由来は、野根川の渡船場であったところからきていると考えられます。  
「太刀踊り」は、昔は「川口」「真砂瀬」「船津」「久尾」等で行われていましたが、現在は船津地区のみで踊られています。  
「太刀踊り」の歌詞にあります「坂本某」は、口伝えで

伝承されたようです。地区では五軒あります。  
地区の長老「皆津長吉」さんのお話では、子どもの頃より、盆踊りの合間に踊られてきたようですので、昔から踊り継がれてきたものと考えてよいでしょう。  
また皆津さんが子どもの時より、当地区は平氏の子孫と聞かされ、生家では、正月、盆、その他の祭事には、必ず赤い半紙で幟を作りお祀りしてきました。理由をお父さんに聞くと、「うちは平家の子孫だから赤旗を作るのだ」と言われました。  
なお「太刀踊り」の歌詞にある文珠様は、昔、平氏の落人が京都より奉持し、通称「ドガワのセ」でお祀りされていましたが、その一族が絶えたのち発見され、現在地に祀られています。  
発見について「村の守護神河内大明神のお告げにて、僧津山に入らんとせし処、北に当りて光明の光ものしけり。草の中に文珠菩薩の尊像忽然として座ませり」と縁起に書かれて一節です。  
霊験あらたかな文珠様と言われています。

## 馬路村俳壇

枯木星またたきあうも近よらず

白波が白波を追い二月尽

安子

発芽せるチューリップきてどんな色

誘われて春野温泉広きこと

喜美栄

もらいたるマフラー我に良く似合う

若水を迎えし父のあと継がず

雅子

見ゆるもの皆ほえんで春の風

噴水の霧はい渡る風の木々

清子

庭の木に羽音のけはい梅二月

カラオケの灯のきらきらと春の川

千鶴子

沢しぶきしたたかに浴び芹の青

山かに陽は還りゆく寒母 俣式部さゆりさん

佳江

春霖や護摩堂の燠なお薫る

久留米禅天その窮屈をたのしみぬ

いわお

# 総務課

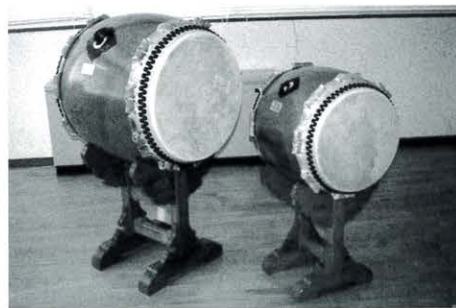
## 魚梁瀬丸山公園の木製遊具等の製備

平成十三年度 宝くじ助成事業

平成十三年度宝くじ助成事業により、魚梁瀬丸山公園の木製遊具、神祭で使用される太鼓が整備されました。また、他にも祭りで使用される法被や、魚梁瀬丸山公園内の芝も整備されていますのでお知らせします。



魚梁瀬丸山公園の木製遊具



神祭で使用する太鼓

# 教育委員会

## 広報うまじを郵送しています

村内に住んでおられる皆さんには、無料でお配りしていただきますが、ご兄弟や、お子さんなど村出身者が、村外で暮らしている場合に、広報うまじを届けたい、読みたい希望があれば、直接馬路村教育委員会から郵送いたします。

○発行計画  
偶数月の一日付けで、十日ごろ発行。

○受け付け締め切り  
平成十四年度分は五月二十日とします。

○経費の払い込み  
五百円を直接に教育委員会へ持参下さるか、郵便局の定額小為替で郵送下さい。

○必要事項  
届け先の正確な住所と氏名。  
締め切り日までに受け付けが済んだ方に、郵送により平成十四年六月一日号から一年間六回お届けします。ふる里の便りを広報紙とともに、ぜひいかがでしょうか。

### 各種教室開催のご案内

◎各教室とも皆さまのご参加をお待ちしています。

<b>大正琴教室</b> 開催日時 毎週月曜日 PM7:00~9:00 開催場所 就業改善センター 三宅 哲男 講	<b>魚梁瀬民踊教室</b> 開催日時 毎週火曜日 PM7:30~9:00 開催場所 魚梁瀬多目的施設 講師 岡田 数子	<b>アートフラワー教室</b> 開催日時 毎月第2、4日曜日 PM1:00~5:00 開催場所 魚梁瀬多目的施設 講師 小松 明美
<b>吟詠教室</b> 開催日時 毎週火曜日 PM7:30~10:00 開催場所 就業改善センター 講師 高橋 和一	<b>小筆による書道</b> 開催日時 未定 開催場所 就業改善センター 講師 吉本盛一郎	<b>大極拳教室</b> 開催日時 毎週金曜日 PM7:30~9:00 開催場所 就業改善センター 講師 中村 大介
<b>メッシュワーク教室</b> 開催日時 毎月第1水曜日 PM1:00~3:00 開催場所 魚梁瀬多目的施設 講師 和泉 淳	<b>洋裁教室</b> 開催日時 毎週火、木曜日 AM9:00~PM5:00 開催場所 馬路公民館 講師 吉本 禎子	<b>俳句教室</b> 開催日時 毎月1回 開催内容 郵送による添削指導 講師 田村 智正
<b>馬路民踊教室</b> 開催日時 毎週木曜日 PM7:30~10:00 開催場所 就業改善センター 講師 岡田 数子	<b>日本舞踊</b> 開催日時 毎月第2、4土曜日 PM2:00~5:00 開催場所 就業改善センター 講師 竹正 里子	<b>短歌教室</b> 開催日時 毎月1回 開催内容 郵送による添削指導 講師 楠瀬兵五郎
	<b>ピアノ教室</b> 開催日時 毎週金曜日 PM5:00~9:00 開催場所 魚梁瀬杉の家 講師 川島 節子	<b>子ども硬筆教室</b> 開催日時 毎週月曜日 PM4:00~6:00 開催場所 就業改善センター 講師 吉本盛一郎

◎新しく開講する予定で、日程が決まっていない教室については、詳細が決まりしだい村内放送等でお知らせします。

社会福祉  
協議会

新型送迎支援車導入

社会福祉協議会では、より質の高い送迎サービス事業を目ざして三月末に新型送迎支援車の導入を行いました。

これは西野家よりの寄付金及び(財)日本船舶振興会(日本財団)並びに村よりの補助金により導入したもので、これによりデイサービスセンター、健康ほっとサロン、患者送迎サービス等各事業利用者の方々に、よりきめ細かな



送迎支援車(8人乗りワゴン)

サービスの提供ができてこととなりました。

馬路  
中学校

『わくわく教室』  
のお知らせ

目的

村民の方々に、学校を知ってもらい、学校と地域の連携を深めることを目的として、平常時の授業を村民のかたがたに開放します。中学生のころにもどって、子どもたちといっしょに学んでみませんか。

開設教科と内容等

教科	内容	日程
英語Aコース	中学校1年程度の英語	週3~4時間
英語Bコース	ザックさんとの英会話	4/18スタート 2週間ごとの木曜日
社会Aコース	歴史分野	5月の連休明けから 週4時間
社会Bコース	地理分野	
美術コース	粘土作品製作	10月以降週2時間 計10時間を予定

募集人数

各コース3~4名  
学習したい内容を明確にして、参加してください。

締め切り

英語と社会のコースは  
4月17日(水)まで。

くわしくは、馬路中学校 TEL:2-1007

子どもたちと、教室で学んでみませんか?

平成14年度『自衛隊幹部候補生』募集

陸上自衛隊	一般幹部候補生	受付:4月8日(月)~ 5月10日(金)
海上自衛隊	一般幹部候補生	試験日:5月25日(土) 26日(日) 飛行要員のみ
	一般要員 飛行要員	
航空自衛隊	技術幹部候補生	飛行要員のみ 場所:高知市内
	一般幹部候補生	
	一般要員 飛行要員	

くわしくは、自衛隊安芸募集事務所まで TEL 0887-35-2749

スポーツ安全保険

スポーツ安全協会傷害保険  
(賠償責任保険付)

区分	対象となる団体	掛金 (一人年額)	傷害区分				賠償責任保険 (補償限度額)	備考
			死亡	後遺障害	入院 (日額)	通院 (日額)		
A	・子どものグループ (中学生以下) ・文化、ボランティア活動 (高校生以上)	450円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 一人1億円 1事故5億円	突然死による 死亡 140万円
AW	中学生以下の児童、生徒及び 乳幼児等により構成されたス ポーツ、文化活動、ボラン ティア活動などを行う団体	1,000円	2,100万円 (100万円)	3,150万円 (150万円)	5,000円 (1,000円)	2,000円 (500円)	財物賠償 500万円 免責(自己負担) 1,000円	〈賠償責任補償〉 左記補償に 身体、財物賠償合算 1事故 500万円加算 個人練習、個人活動等の事故についても同上 ( )内金額は個人活動及び個人練習時の事故の補償
B	老人クラブ団体(60歳以上)	800円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		
C	成人のスポーツ(高校生以上)	1,400円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		

※本年度から新しくAW(子どもワイド)が加わり、個人練習、個人活動中の事故等、新たに補償対象範囲が増えました。

AWについては、突然死についての共済見舞金は対象外となっています。

◎スポーツ活動中の事故に備え、ぜひとも加入されますよう、お勧めします。

《対象となる事故》

◇グループ活動中の事故 ◇往復途上の事故

《保険期間》

平成14年4月1日から15年3月31日まで(途中加入の人は掛金払込みの翌日から)加入申込みは3月からもできます。

くわしいことのお問い合わせは

馬路村教育委員会(4-2216)  
役場魚梁瀬支所(3-2211)

# 赤ちゃん万歳

「パパ・ママといっしょ」



梶原 京也くん (魚梁瀬)

平成13年10月25日生

(保護者 梶原浩二・朝香さん)



後藤 流聖くん (魚梁瀬)

平成13年10月24日生

(保護者 後藤和昭・陽子さん)

こんにちは、梶原京也です。僕の得意技は夜九時半ごろまで、次の日の朝九時半ごろまで寝る事です。時々お母さんがのぞきに来るけど、知らん顔。こんな僕をみんなは、どんなやんちゃぼうずになるろうねと噂しています。ウルトラマン好きのお姉ちゃんは、僕が大きくなったら、一緒に戦いごっこをしようねと言っています。お姉ちゃんに負けないような元気な男の子になりたいです。みなさんよろしくお願ひします。

こんにちは、流聖です。僕はママゆずりのバッチリ二重とパパゆずりの長いまつ毛で初めは女の子に間違えられていたけど、最近は顔も少しりしくなり、笑顔もいっぱい見せれるようになりました。車に乗せられるとすぐに寝むたくなる僕ですが、家にいる時は寝かされているのが嫌でいつも抱っこしてもらっています。ワイワイガヤガヤな所が好きな僕です。馬路村のみなさん、僕を見かけたら、お話しして下さいネ。

## 魚梁瀬のおもちゃ全国へ発信

森を生かすための  
魚梁瀬流おもちゃづくり

魚梁瀬から木のおもちゃを全国に発信します。

魚梁瀬木工芸クラブは、四月からホームページや森の情報館(高知市)、馬路温泉で木のおもちゃの販売を予定しています。間伐材がおもちゃに生まれ変わり、鯨、カモシカ、森林鉄道と客車、ボンネットバス、トラック、輪ゴム鉄砲等、今では種類も増えました。魚梁瀬木工所になれば、おもちゃでいっぱいです。指導者の草野さんは、このおもちゃを魚梁瀬ブランドにして、地域の活性化になるようにとがんばってくださっています。また、今年も引き続き作り方の指導を行いますので、おもちゃを作りたい方は、役場支所へ連絡ください。

魚梁瀬支所

三一二二二一



魚梁瀬のおもちゃ



魚梁瀬のおもちゃのマーク

ご出生おめでとうございます

子ども	性別	父	母	生年月日	地区
五百藏竜太	男	浩二	紀子	14・2・2	魚梁瀬

## 村内あちらこちら



2月3日 第50回市町村駅伝



2月26日 徳島県との保健交流研修会



2月28日 森林組合総会



3月15日 馬路中卒業式



3月17日 魚梁瀬中卒業式

## 村のできごと

### 《2月》

- 3日 第50回市町村駅伝に馬路村チーム出場
- 4日 村内小学校5・6年生スキー教室
- 9日 ウィンターキャンプ（～10日）
- 16日 魚梁瀬小学校学習発表会
- 24日 足摺駅伝に馬路村チーム出場
- 28日 森林組合総会

### 《3月》

- 2日 馬路小学校ひな祭り発表会
- 7日 おらが村いのちの教育講演会
- 9日 第1回地場産品通販全国フォーラム
- 11日 3月定例議会（～18日）
- 15日 馬路中卒業式
- 17日 魚梁瀬中卒業式
- 20日 村内小学校卒業式
- 23日 魚梁瀬保育所卒園式
- 25日 馬路保育所卒園式



第2回IT講習の熱心な受講生たち

馬路小学校の三、四年生が県道のゴミ拾いを実施したとき、手伝いに行きました。空き缶のポイ捨てが多いとは聞いていましたが、いざ拾ってみるとその量には驚きました。

あれから一月あまり、子どもたちのおかげで、せつかく美しくなった県道でしたが、すでに路肩には多くの空き缶が転がっています。

子どもたちの、この村をなんとかしたいという思いを、大人がしっかり受け止めてやれる馬路村であってほしいと思います。

(浜)

編集後記

## 4月・5月 むらの行事予定

日	月	4 月	日	月	5 月
1	月		1	水	
2	火		2	木	
3	水		③	金	憲法記念日
4	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	④	土	国民の休日
5	金		5	日	こどもの日
6	土	春の全国交通安全運動 (~15日)	⑥	月	振替休日
7	日		7	火	
8	月	村内4校入学式	8	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00 馬路村 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00 教育研究会総会
9	火		9	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00
10	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00	10	金	
11	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	11	土	
12	金	人権相談 (就業改善センター) 10:00~15:00	12	日	
13	土		13	月	
14	日	馬路村観光開き	14	火	
15	月		15	水	巡回図書 村内小学校合同宿泊訓練 (室戸少年自然の家) (~16日)
16	火	乳幼児健診 (交流センター) 13:00~受付 村内中学校合同修学旅行 (~19日)	16	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 総合健診 (魚梁瀬多目的施設) 8:30~10:30
17	水	巡回図書	17	金	
18	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	18	土	
19	金		19	日	
20	土		20	月	
21	日		21	火	1歳6ヵ月児健診 (田野町) 13:00~受付
22	月		22	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00
23	火		23	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00
24	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~16:00	24	金	ポリオ予防接種 馬路診療所 10:30~ 魚梁瀬診療所 15:00~
25	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 魚梁瀬地区PTA総会	25	土	
26	金	引き取り犬・猫の収集日 馬路地区PTA総会	26	日	
27	土		27	月	
28	日		28	火	
⑳	月	みどりの日	29	水	
30	火		30	木	馬路健康ほっとサロン 乳がん・ (就業改善センター) 9:00~11:30 (交流センター) 10:00~16:00 子宮がん検診 (魚梁瀬多目的施設) 13:30~15:00
			31	金	引き取り犬・猫の収集日 3歳児健診 (奈半利町保健センター) 13:00~受付

3月末の人口  
世帯数 514世帯  
男 599人  
女 636人  
計 1,235人  
(馬路 941人)  
(魚梁瀬 294人)

編集発行：馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010

E-mail adress umaji-v@edu.net-kochi.gr.jp

印刷：有限会社 大鳥 (安芸タイプ)